

令和4年度 長野県産業教育振興会 特別生徒研究助成 報告書

長野県飯田OIDE長姫高等学校
コンピュータ制御部 部長 古瀬 蒼太

1 研究事業名

CM 動画制作による地域PR および諸問題に対する啓発

2 研究概要

コンピュータ制御部の活動としてCM制作をしてコンテストに参加する。コンテストで入賞したCMは、実際にテレビで放送され学校や飯田、下伊那のPRとして効果をもたらす。地域を題材にしたCMは学校外で街の取り組みをインタビューして、さまざまな人の協力のもと撮影を行う。CM制作を通して動画編集技術を学ぶ、地域との連携活動を行う、これら両面から意義のある研究を行えるようにする。

また、地域を題材にしたCMコンテスト以外にも交通安全、新聞を読むことの勧め、サイバー防犯などの啓発動画コンテストがあり、学んだ動画編集技術を活かすとともに各テーマについて深く考える機会にできるようにする。

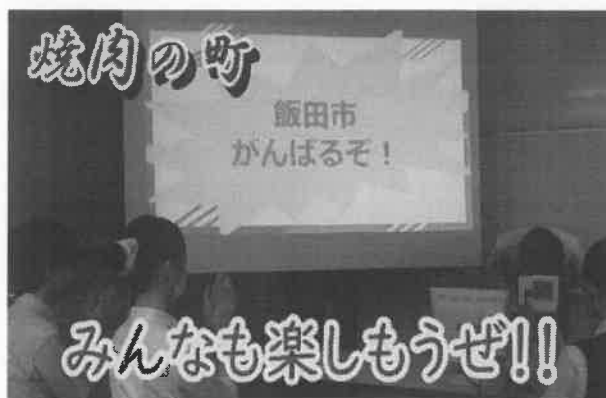


写真1 制作をした地域PRCM

3 活動内容

(1) 地域PRのCM制作の実施

「AbnふるさとCM大賞」に参加。CMの題材として焼来肉ロックフェス、肉の自動販売機、飯田焼肉ピクトグラムを使用。題材として使用するにあたり、焼来肉ロックフェス実行委員である株式会社飯田マツブツなど多くの、飯田下伊那の焼き肉を題材として町おこしをしている企業団体に取材を行う。

取材を行う中で焼来肉ロックフェスなどにも、スタッフの方の協力のもと撮影を行った。焼き肉ロックフェスを撮影にするにあたってはロックフェスを盛り上げるためにオリジナルのTシャツ等も製作をして撮影に赴いた。

焼来肉ロックフェスで撮影した動画を素材として本校のadobe premiere proを用いてCMのための動画編集を行った。

コンテストに応募した動画は残念ながら入賞することはできなかったが、一度はテレビ放送がされネットなどで見ることができご協力いただいた地域の方にも喜んでいただけることができた。



写真2 焼き肉ロックフェス撮影風景



写真3 飯田市の焼き肉を題材にした町おこし

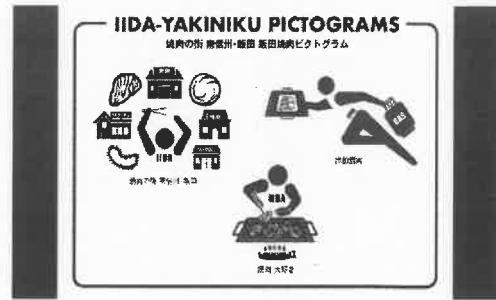


写真4 飯田焼肉ピクトグラム

(2) 各テーマPRのCM制作の実施

新聞を読むことを勧める「しんまいCM動画コンクール」交通安全啓発の「高校生交通安全CMコンテスト」、サイバー防犯啓発の「警察庁サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト」に参加。

CM動画を制作するにあたり、インターネットが普及している中で新聞を読むことの必要性はどこにあるか、交通安全を訴えるにあたり動画を視聴する人に何を伝えなくてはいけないか、サイバー防犯とはどのようなことに気を付けなくてはいけないかと言った各テーマについて考える場になった。

応募した作品のうち「高校生交通安全CMコンテスト」に応募した作品がSBC賞を受賞、「警察庁サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト」に応募した作品が最終審査会にノミネートされた。



写真5 しんまいCM動画コンクール撮影風景

4 まとめ

CM制作をするにあたり、単純に動画を撮影編集するだけでなく地域の協力の下、地元地域でどのような取り組みが行われているかを調べ、イベントなどにも参加し地域をより知ることができた。

また各テーマのCMについても決められたテーマについて考えを深めることができた。

応募作品の受賞の有無などもあったが、それ以上に地元企業などとの協力のもとでCM制作を行えたことが非常に意義のあるものであったと考えられる。



写真6 交通安全受賞作品



写真7 サイバー防犯ノミネート作品